

# 発達障害支援に係る専門職合同研修

～理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・臨床心理士・臨床発達心理士の合同研修～

ルール理解の困難や衝動性の高さなどを特徴とする発達障害児は、ネット依存のリスクが高いことが指摘されています。本研修の基調講演では、久里浜医療センター 主任心理療法士 三原 聡子 氏からインターネット依存と発達障害との関連性、その予防と支援について御講演いただきます。

また、午後の部では、発達障害支援に携わる専門職から発達障害児支援に関する3つのテーマについて発表があります。

日時

平成31年1月27日(日) 10:00～16:00(受付開始9:30)

※悪天候等により、研修を中止する場合は、研修開催日の前日午後5時までに埼玉県発達障害総合支援センターのホームページにてお知らせいたします。

対象

県内在住・在勤の  
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士、臨床発達心理士

参加費無料

会場

埼玉県発達障害総合支援センター 研修室  
(さいたま市中央区新都心1-2 小児医療センター3階南玄関)

定員

180名(先着順とさせていただきます)  
※ 申込者が定員を超え、入場をお断りする場合のみ御連絡します。



埼玉県のマスコット コバトン さいたまっち

プログラム

【基調講演】10:00～12:00

## 「発達障害のある子供とインターネットの上手な付き合い方 ～ネット依存の予防と支援とは～」

講師：独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター  
主任心理療法士 三原 聡子 先生(臨床心理士 精神保健福祉士)

<講師略歴>

筑波大学大学院修士(カウンセリング)。埼玉県内の精神科病院を経て、平成21年より現職に至る。平成23年の久里浜医療センター ネット依存専門治療外来開設時よりネット依存の治療・研究に携わる。文部科学省委託事業「情報化の進展に伴う新たな課題に対応した指導の充実に関する調査研究」調査研究委員、インターネット使用障害に関するWHO東京会議(平成26年)事務局委員などを歴任。

【発表】13:00～16:00

「発達障害をともなう肢体不自由児への理学療法の初期介入」 埼玉県理学療法士会  
「子どもの発達と身体を使うことの意味」 埼玉県作業療法士会  
「読み書き障害とICT～ある中学生の教室でのiPad活用例から～」 埼玉県言語聴覚士会

申込み  
問合せ

埼玉県発達障害総合支援センター 地域支援担当  
電話:048-601-5551 FAX:048-601-5552 E-MAIL:m015551@pref.saitama.lg.jp

主催

埼玉県  埼玉県理学療法士会 埼玉県作業療法士会 埼玉県言語聴覚士会  
埼玉県臨床心理士会 日本臨床発達心理士会埼玉支部

## 申込方法

下記QRコードまたは埼玉県のホームページから、電子申請システムでお申込ください。

【QRコード】



<スマートフォン用>

【埼玉県ホームページからの入り方】

総合トップ → 組織情報 → 福祉部 → 発達障害総合支援センター  
→ 平成30年研修一覧(埼玉県内の支援者向け) → 上記の他支援者(含専門職)の方  
→ 発達障害支援に係る専門職合同研修

※必ず最後の送信ボタンまで押してください。

## 申込期間

平成30年12月21日(金)～平成31年1月18日(金)

## 会場案内図

埼玉県発達障害総合支援センター

(さいたま市中央区新都心1-2 埼玉県立小児医療センター3階 南玄関)

※埼玉県立小児医療センターの正面玄関から会場に入ることはいけません。

※研修室で昼食をおとりいただけます。ゴミは各自でお持ち帰りください。



## 【交通アクセス】

- ・JR京浜東北線、高崎線、宇都宮線  
さいたま新都心駅 西口から徒歩約5分
- ・JR埼京線北与野駅 東口から徒歩約5分

※ 当センターには駐車場はありませんので、公共交通機関を御利用ください。

申込み  
問合せ

埼玉県発達障害総合支援センター 地域支援担当

電話:048-601-5551 FAX:048-601-5552 E-MAIL:m015551@pref.saitama.lg.jp

主催

埼玉県  (公社)埼玉県理学療法士会 (一社)埼玉県作業療法士会  
(一社)埼玉県言語聴覚士会 埼玉県臨床心理士会  
(一社)日本臨床発達心理士会埼玉支部